

**柏原市まち・ひと・しごと創生  
柏原市総合戦略（素案）**

**平成27年9月**

**柏原市**

# 目次

第1章	はじめに	1
1-1	総合戦略策定の趣旨	1
1-2	総合戦略の位置付け	1
1-3	計画の期間	2
第2章	目指すべき将来像	3
2-1	基本理念	3
2-2	目標とする将来像	3
2-3	目標人口	3
2-4	基本方針と戦略の柱	4
2-5	基本目標	6
第3章	まち・ひと・しごと政策プラン	7
3-1	施策体系図	7
3-2	各施策	13
(1)	基本目標1 働きやすいまち かしわら	13
(2)	基本目標2 住んでみたい 住み続けたいまち かしわら	18
(3)	基本目標3 子育て環境ナンバーワンのまち かしわら	22
(4)	基本目標4 にぎわいのあるまち かしわら	28
第4章	計画の推進	13
4-1	P D C A サイクル	30
4-2	推進体制	30
4-3	進行管理スケジュール	30

# 第1章 はじめに

## 1-1 総合戦略策定の趣旨

我が国は、2008年をピークとして人口減少局面に入っており、今後、2050年には9,700万人程度、2100年には6,500万人を割り込む水準にまで減少するとの推計があります。

加えて、地方と東京圏との経済格差拡大等が、若い世代の地方からの流出と東京圏への一極集中を招き、日本全体としての少子化、人口減少につながっています。

このように、地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高くなっています。私たちはこれまでにない危機感をもって、人口減少克服と地方創生に取り組む必要があります。

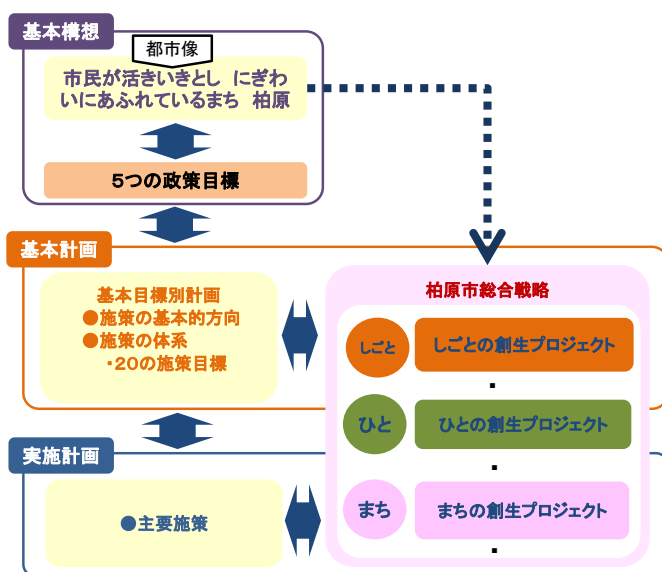
そのような中、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、これに基づき国は「長期ビジョン」と「総合戦略」を策定しました。地方においても、国が策定した「総合戦略」等を勘案して、各地域の実情に応じた、まち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画（地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略）を定めることとなります。

本市では、法の趣旨に則り、人口減少の克服と地方創生を目指し、まち・ひと・しごと創生の好循環を確立するために、今回、「柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

## 1-2 総合戦略の位置付け

総合戦略は、本市における人口の現状と将来の展望を提示する「人口ビジョン」における目標人口と将来（60年後）の姿を見据え、その実現に向けた今後5年間の方策を示すものとなります。

また、総合戦略は、「第4次柏原市総合計画」の後期計画との整合を図り、5つの政策目標の実現にむけて横断して取り組む、リーディングプロジェクトとして位置づけます。



### 1-3 計画の期間

総合戦略の計画期間は平成 27 年度～平成 31 年度（2015 年度～2019 年度）の 5 年間とします。

年度 計画	(平成 27) 2015	(平成 28) 2016	(平成 29) 2017	(平成 30) 2018	(平成 31) 2019	(平成 32) 2020
(第 4 次総合計画)						
総合戦略						

## 第2章 目指すべき将来像

### 2-1 基本理念

本市のまちづくりの基本理念は、わがまちの「元気回復・活力再生」「市民幸福度の向上」「産業の発展」及び「福祉サービスの充実」を縦軸とし、「広く聞く」「よく考える」「的をはずさない」「機を見て、選択的かつ集中的でわかりやすい実行」を横軸として、市民を中心に「産・学・官」の協働によりまちづくりを推進するものとしています。

総合戦略におきましても、このまちづくりの基本理念のもと、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごと創生の好循環の確立を目指します。

### 2-2 目標とする将来像

本市の目標とする将来像は、「第4次柏原市総合計画」における柏原市の目標とする将来像とします。

**市民が生きいきとし にぎわいにあふれているまち 柏原**  
～自然と歴史を活かした個性あるまちづくり～

総合戦略においては、まち・ひと・しごと創生の好循環を確立し、『市民が生きいきとし にぎわいにあふれているまち 柏原』の実現を目指します。

### 2-3 目標人口

人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえ、2060年に54,381人を目標人口とします。

## 2-4 基本方針と戦略の柱

『市民が活きいきとし にぎわいにあふれているまち 柏原』を実現するために、「まち・ひと・しごと創生」のリーディング事業として、『「親世代」から「子ども世代」、「孫世代」へつなぐ、三世代がよりそう まちづくり』を中心とした事業戦略に取り組みます。

### <<基本方針>>

**「親世代」から「子ども世代」、「孫世代」へつなぐ、三世代がよりそう まちづくり**  
～三世代の絆や家族の大切さを深め、柏原市に生まれて良かった、住み続けたい  
と思える暮らしを実現～



#### ○しごとの創生 ～身近で安心して働けるしごとの創出～

地域の歴史や文化を支える地場産業の活性化に取り組み、消費や雇用の拡大を図り、働きたい人が身近な地域で働ける環境を整えます。また、家庭と仕事の両立支援や在宅勤務、共働きなど、多様なワークスタイルが選択できる雇用環境を目指します。

#### ○ひとの創生 ～若い世代が子どもを安心して産み、育てることのできる環境の創出～

結婚・出産・子育ての切れ目ない支援や仕事と生活の調和（ワークライフバランス）など、若い世代の人たちが子どもを安心して産み、育てることができる子育て環境を目指します。

#### ○まちの創生 ～三世代がよりそい、住み続けたいと思える暮らしの創出～

同居や近居など「親世代」「子ども世代」「孫世代」の三世代がよりそい、家族の大切さを深め、柏原市に生まれて良かった、住み続けたいと思える暮らしの実現を目指します。また、住民のライフスタイルやライフステージに応じた居住環境の充実や大阪教育大学、関西福祉大学と連携した多世代混在（ソーシャルミックス）による大学生と高齢者との交流、地域での異世代交流を目指します。

## 目指すべき将来の方向性

- 出生率の向上により人口減少に歯止めをかけ、人口規模の安定と人口の構造の改善を図ります
- 市外への転出抑制により、人口規模の確保を図ります

視点① 若者を中心とした生産年齢人口の流出抑制

視点② 結婚、子育て、教育など子育て世代の支援

視点③ 地域資源を活用した地域活性化

## 基本方針と戦略の柱

### しごとの創生

身近で安心して働けるしごとの創出

### ひとの創生

若い世代が子どもを安心して産み、育てることができる環境の創出

「しごと」と「ひと」の好循環

「親世代」から「子ども世代」、「孫世代」へとつなぐ、  
三世代がよりそう まちづくり

～三世代の絆や家族の大切さを深め、柏原市に産まれて良かった、住み続けたいと思える暮らしを実現～

「まち」が支える

### まちの創生

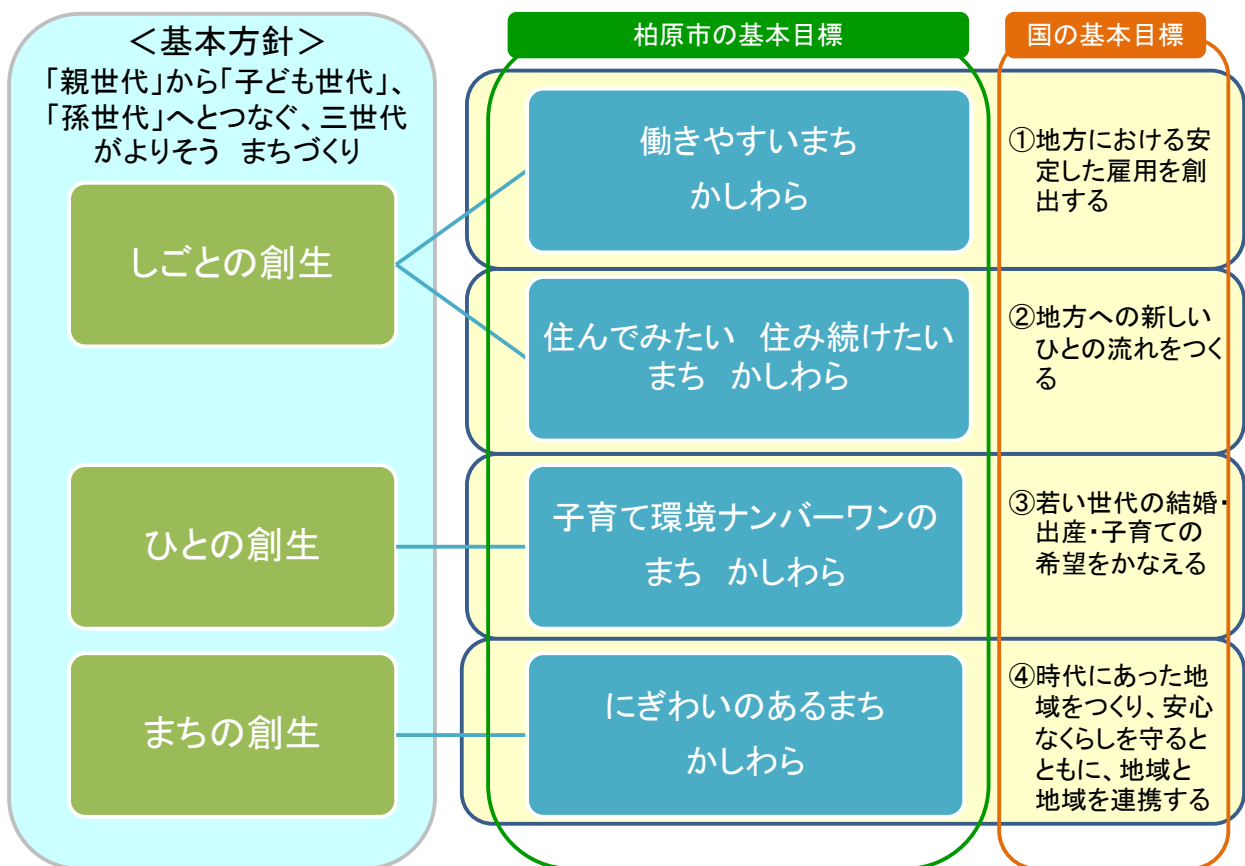
三世代がよりそい、住み続けたいと思える暮らしの創出

## 2-5 基本目標

国が閣議決定した、まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、5つの政策原則、自立性、将来性、地域性、直接性及び結果重視と、以下の4つの基本目標の主旨に沿った施策が展開されます。

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

本市の総合戦略においても、国が示す政策5原則及び基本目標を十分に勘案しながら、基本方針とそれを支える3つの戦略に向けて、柏原市の基本目標を掲げます。





## 第3章 まち・ひと・しごと政策プラン

---

### 3-1 施策体系図

『市民が生きいきとし にぎわいにあふれているまち 柏原』を実現するため、具体的な取組を示した施策体系を以下の通りとします。

政策目標1  
地域のつながりの中でも誰もが健康で安心して暮らしている

政策目標2  
産業と豊かな自然が調和し、環境にやさしい事業活動や生活行動を実践している

政策目標3  
生活の利便性が高く、質の高い快適に暮らせるまちとなっている

政策目標4  
人権を尊重し、地域への誇りを持った心豊かな個性と能力を発揮する人が育っている

政策目標5  
健全な行財政運営が行われ、市民全体のまちづくりが実現している

基本方針と戦略の柱

＜基本方針＞  
「親世代」から「子ども世代」、「孫世代」へとつなぐ、三世代がよりそう まちづくり

しごと  
身近で安心して働けるしごとの創出

ひと  
若い世代が子どもを安心して産み、育てることができる環境の創出

まち  
三世代がよりよい、住み続けたいと思えるくらしの創出

基本目標と基本的方向性

基本目標1  
働きやすいまち  
かしわら

＜基本的方向性＞  
○豊かな自然環境や歴史的な資源を活かした柏原市の魅力あるまちづくりを行い、その中で、新しいしごとをつくっていく  
○就職フェアを開催し、就労機会の拡大と事業所の人材確保を支援していく

施策(案)

観光によるにぎわい創造  
(地域産業(観光)競争力強化)

企業等の地方拠点化とICTの利活用による地域活性化

人材の確保

農業振興

具体的な施策(案)

地域資源の発掘と活用

まちの魅力発信

観光振興

地元企業等の育成

企業経営の支援

地元商店等の活性化支援

創業支援の強化

地域就労の推進

大学以外における連携

勤労者福祉の増進

農地等の有効活用

農業経営の安定化

地域農業の活性化

青年及び女性農業者の育成

特産農産物等のPRの強化

事業の内容(案)

・市民総合フェスティバル効果促進事業  
・地域人材育成の推進  
・地域ネットワーク構築  
・亀の瀬地域振興

・まちの魅力発信事業  
・森ガイド養成の推進  
・まちガイド養成の推進  
・市民意識の醸成

・自転車の聖地かしわら事業  
・農業振興事業  
・ぶどう品評会の実施

・企業誘致実現プロジェクトの推進  
・まち・ひと・しごとネット事業

・中小企業融資事業

・空き店舗の有効活用  
・商店街活性化支援

・創業支援事業計画  
・創業支援セミナーの開催

・かしわら・やお就職フェア開催  
・就労支援  
・大学等と連携した合同会社説明会の開催

・大学や異業種企業及び金融機関等とのマッチング

・勤労者センター事業

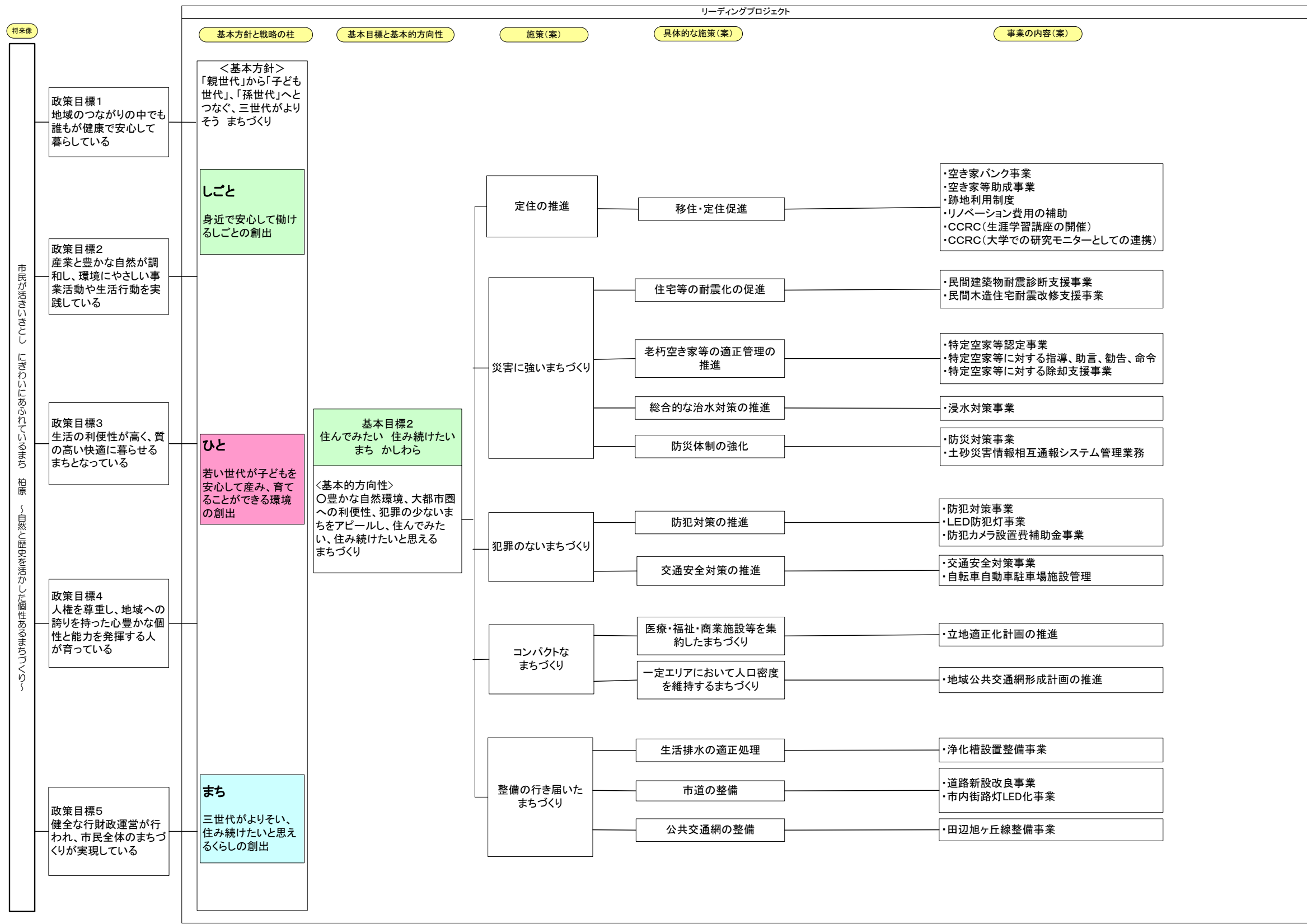
・週末田舎暮らし応援の推進

・特産農作物等の生産性の向上及び高付加価値化への支援  
・有害鳥獣駆除及び被害防止の推進  
・商工業者との連携による新たな商品開発への支援

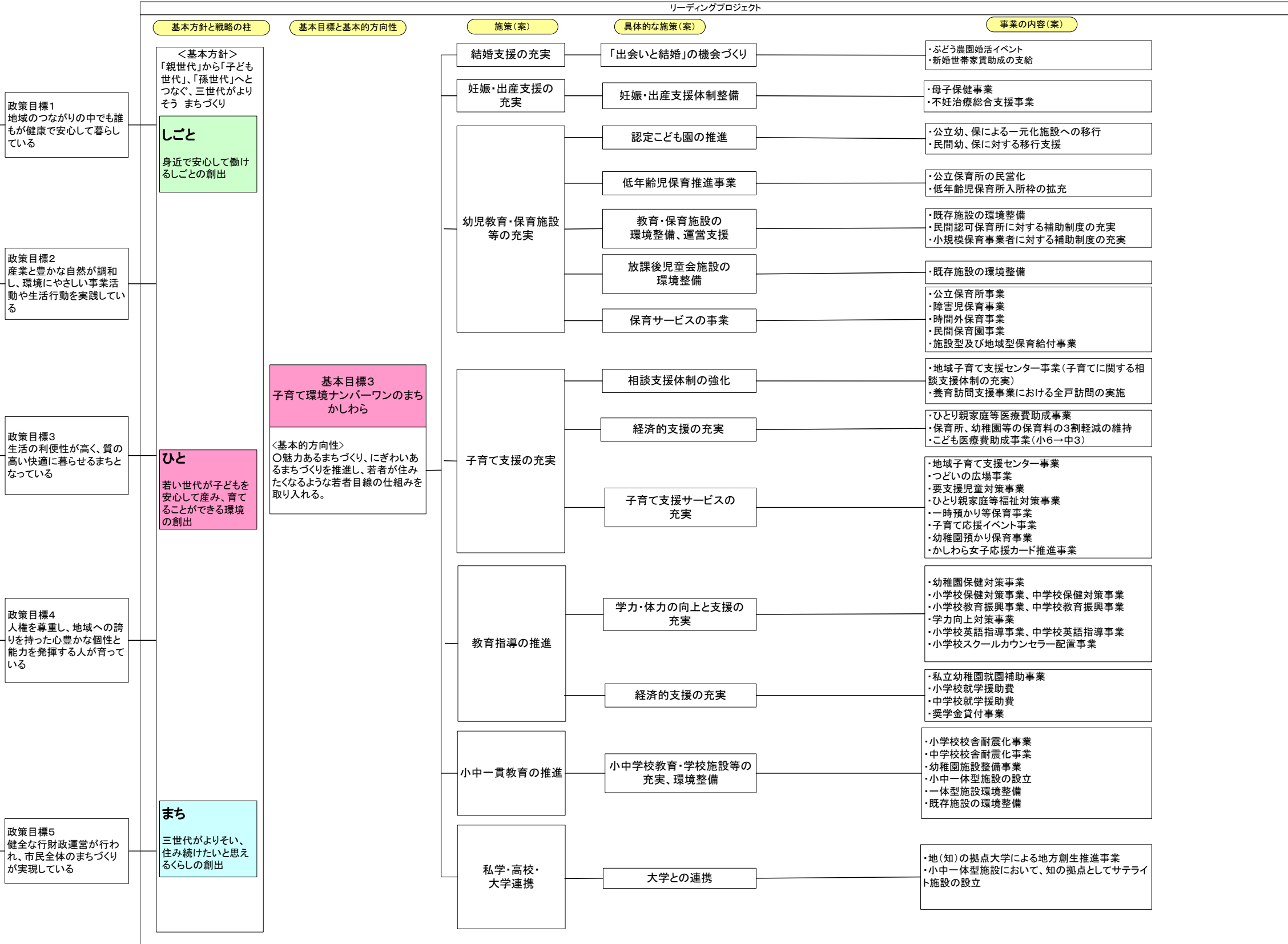
・経営所得安定対策事業  
・むら活き活き交流事業

・担い手育成の支援

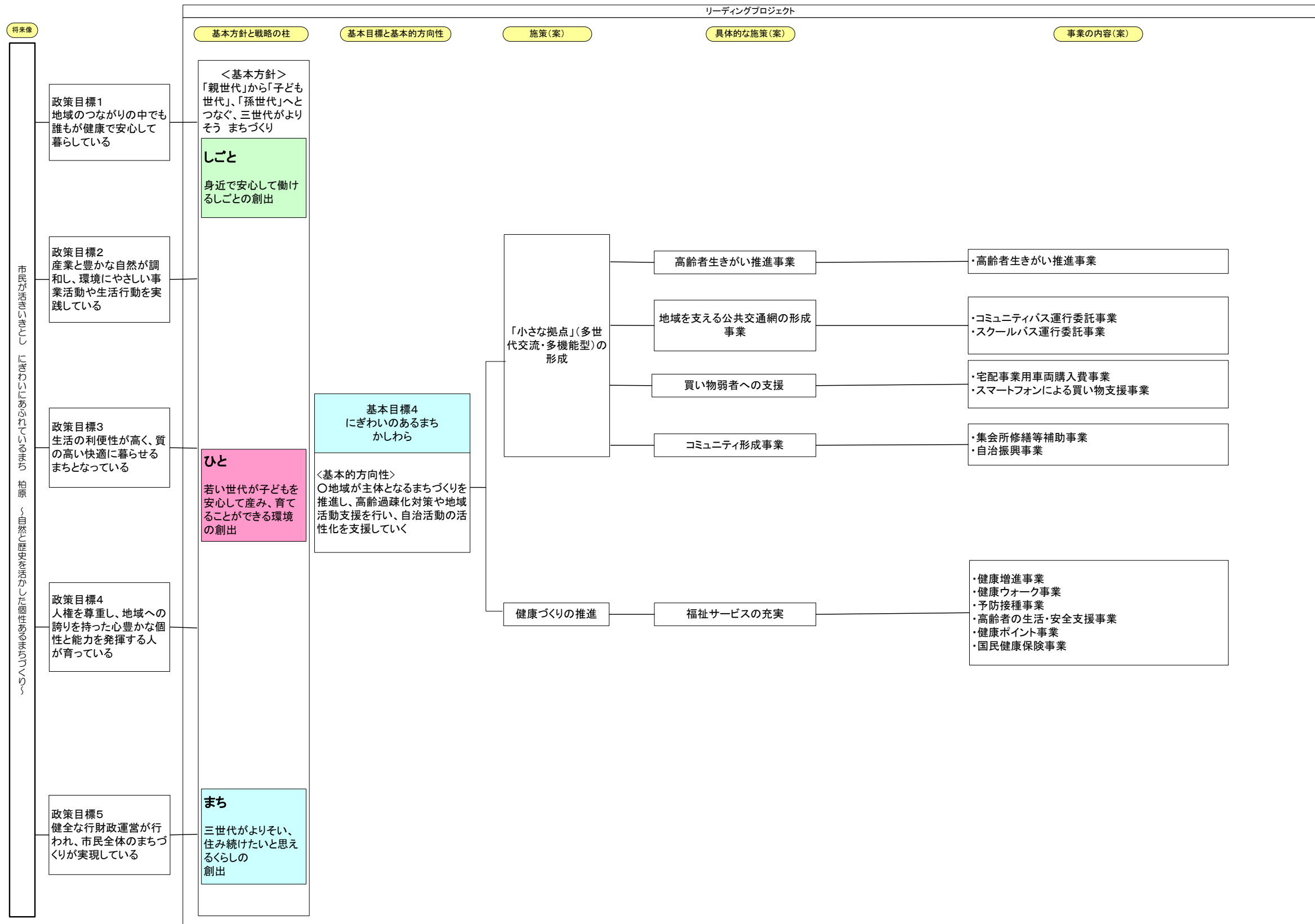
・市外での特産品PR販売の推進



市民が生き生きとくらし、にぎわいのあるまちづくりを実現する。 柏原 ～自然と歴史を活かした個性あるまちづくり～







## 3-2 各施策

### ■基本目標1 『働きやすいまち かしわら』

(柏原市における安定した雇用を創出する)

働く意欲のある人誰もが身近な地域で働くことができるよう、雇用の創出に努めます。

数値目標	基準値	目標値
若者の市内雇用者数の割合※1	9.4% (H22 国調)	15% (H31)
女性就業率	35.9% (H22 国調)	40% (H31)

※1 国勢調査における常住地内による市内従業者を表す（若者…40歳未満）

### ■講ずべき施策に関する基本的方向

豊かな自然環境や歴史的な資源を活かした柏原市の魅力あるまちづくりを行い、その中で、新しいしごとをつくっていきます。

市内での就労者を増やすために、就職につながるような事業を実施し、就労機会の拡大と人材確保を支援していきます。

### ■施策

#### 1) 地域産業競争力強化によるにぎわい創造

①地域資源の発掘と活用	
地域に眠っている資源を発掘し、それを有効活用して、柏原市のにぎわいをもたらすような事業を展開し、雇用の創出につなげます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
・ 市民総合フェスティバル会場最寄駅乗降客数 30,000人（H27）	
・ ボランティア育成受講者数 年間8名	
・ かしわら検定受験者数 年間100名	
具体的な事業	担当
・ 市民総合フェスティバル効果促進事業	・ 地域連携支援課
・ 市民ボランティア育成事業	・ 広報広聴課
・ かしわら検定実施事業	・ まちの魅力づくり課

## ②まちの魅力発信

転入者、特に若者の増とその定住を促進するため、色々な方法で情報を発信して、魅力を紹介するとともに、ガイドを養成して、市内訪問者に柏原市の魅力をアピールすることで、イメージアップを図ります。

### 重要業績評価指標（KPI）：

- ・公式サイト閲覧件数（月間平均）35,000件
- ・Facebookの「いいね」の数 3,500人
- ・20歳～39歳の転出超過をH26基準で70%に抑制（276人⇒193人）（H31）

具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他広報物（広報かしわら特集号）発行事業</li> <li>・ウェブサイト等管理運営事業</li> <li>・まちの魅力発信事業</li> <li>・森ガイド養成事業</li> <li>・まちガイド養成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報広聴課</li> <li>・まちの魅力づくり課</li> </ul>

## ③観光振興

柏原ぶどうといった特産品等を市外にPRすることで、市の知名度アップと魅力発信による交流人口の増加を図り、地域を活性化します。

### 重要業績評価指標（KPI）：

- ・特産品PR販売実績…20%増
- ・ぶどう観光農園来場者数 約50,000人（H26、1シーズン）⇒約55,000人（H31）
- ・交流人口 2,000人（H31）

具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興事業（柏原特産品PRイベント）</li> <li>・自転車の聖地かしわら事業</li> <li>・地域にぎわい創造事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力づくり課</li> <li>・産業振興課</li> </ul>



## 2) 企業等の地方拠点化と ICT の利活用による地域活性化

①地元企業等の育成	
ネットによる事業者情報サイトを構築し、柏原市と地元企業の知名度アップを図ることで、地元産業のPRと掘り起こしを行い、地元産業の発展と就業者拡大につなげていきます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごとネット登録事業者数…3,000件</li> <li>・サイト版就職フェアによる就労人口…10人</li> </ul>	
具体的な事業	担当
・まち・ひと・しごとネット事業	・産業振興課

②企業経営の支援	
企業の経営安定を図るとともに、事業規模の拡大や拠点化を促進し、産業界の発展を後押しします。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
開業資金融資活用による創業者数 年間9件	
具体的な事業	担当
・中小企業融資事業	・産業振興課

③地元商店等の活性化支援	
商店街の空き店舗を活用するような取組を行って、商店街ににぎわいを取り戻し、客を呼び戻す。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の活用による出店数 10件</li> <li>・市内商店街利用客数 10%増</li> </ul>	
具体的な事業	担当
・商工業振興事業（空き店舗活用事業）	・産業振興課

④創業支援の強化	
創業をめざす人が柏原市で創業できるように支援して、市の特色を生かした事業等を開始してもらするなど、柏原市の知名度アップや雇用の創出につなげる。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
・創業支援者数…100件	
具体的な事業	担当
・商工業振興事業	・産業振興課

### 3)人材の確保

①地域就労の推進	
<p>地元企業等と連携し、市内における雇用機会を創出することで、幅広い求職者に就職の機会を提供し、地元就職率向上に伴う地域産業の活性化を推進します。また、市内大学との連携により、新卒者への積極的な就職活動支援を行います。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職フェア参加者数…120人</li> <li>・大学と連携した合同会社説明会参加者数 年間20人</li> </ul>	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かしわら・やお就職フェア開催事業</li> <li>・地域就労支援事業</li> <li>・大学等と連携した合同会社説明会事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興課</li> </ul>
②大学以外における連携	
<p>地域住民、NPO、企業、大学、行政等、地域の多様な主体が協働し、地域特性を活かした体験メニューを通して、市内外の子どもたちと住民が地域ぐるみで交流を行うことにより、柏原市の子どもたちに地域への愛着と誇りを醸成します。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携事業数 5件</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）大学や異業種企業及び金融機関等とのマッチング事業</li> </ul>	
③勤労者福祉の増進	
<p>市内在住・在勤の勤労者の福祉の増進と教養文化の向上を図ります。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般利用件数…200人（H26の25%増）</li> </ul>	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者センター事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興課</li> </ul>

#### 4) 農業振興

①地域農業の活性化	
農業経営者と市民の交流を促進し、農業や農地の大切さへの理解を深めます。また、農業者自らが企画経営するイベントの開催を支援し、地域農業の活性化を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏原特産品PRイベント 5回、</li> <li>・ 市民農園開設区画数 827、</li> <li>・ ふるさと柏原ぶどう狩りツアーへの参加者数 500人</li> </ul>	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業振興事業（市民農園の開設）</li> <li>・ むら生き生き交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興課</li> </ul>

②青年及び女性農業者の育成	
就農希望者が柏原市において新たな生産者となるよう、栽培技術の習得など、担い手の育成を行います。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就農希望者向け担い手育成塾受講者数 20名</li> <li>・ 農業法人への新規就農者 2名</li> </ul>	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域農政推進対策事業</li> <li>・ ぶどう品評会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興課</li> </ul>

## ■基本目標2 『住んでみたい 住み続けたいまち かしわら』

(柏原市への新しいひとの流れをつくる)

柏原市においても、少子高齢化等の影響による人口の減少や高齢化率の上昇が顕在化してきたことから、若者の移住・定住や学生の地元就職率の向上と、それを補えるような地元産業の事業拡大や企業の誘致を推進し、「しごと」と「ひと」の好循環を図ることで、地域の活力向上を図ります。

数値目標	基準値	目標値
市外から市内への転入者数	2,163人(H26)	2,281人(H31)
市外への転出者数	2,534人(H26)	2,281人(H31)
防犯体制、地域防災の満足度	3.0(H26) ※平均	4.0(H31)

## ■講ずべき施策に関する基本的方向

豊かな自然環境、大都市圏への利便性、犯罪の少ないまちをアピールし、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを行います。

## ■施策

### 1) 移住・定住の推進

①移住・定住促進	
<p>放置された空き家を活用することによって住環境を整備するとともに、定住促進で市内活性化をめざします。また、空き家を減少させることによって防犯面や防災面で周辺住民の生活環境向上に寄与します。また、リノベーション費用の補助は二世帯が柏原市に住んでいる場合とし、転出超過の抑制を図ります。</p>	
<p><b>重要業績評価指標(KPI)：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空き家バンク利用による定住件数 年間5件</li> <li>• リノベーション事業利用件数 〇〇件</li> <li>• 市民向けの公開講座の数 〇〇件</li> <li>• 研究モニター数 〇〇人</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 移住定住促進事業</li> <li>• 空き家等助成事業</li> <li>• (仮称) リノベーション費用の補助</li> <li>• (仮称) CCRC (生涯学習講座の開催)</li> <li>• (仮称) CCRC (大学での研究モニターとしての連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちの魅力づくり課</li> </ul>

## 2)災害に強いまちづくり

①住宅等の耐震化の促進	
近い将来に発生することが懸念されている大規模地震に伴う住宅等建物の倒壊等による被害を最小限に食い止めるため、耐震化診断や耐震化されていない建築物の耐震化を促進し、安全・安心なまちづくりを目指す。	
重要業績評価指標（KPI）： ・耐震化率	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間建築物耐震診断支援事業</li> <li>・民間木造住宅耐震改修支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画課</li> </ul>

②老朽空き家等の適正管理の推進	
増えつつある空き家の中でも、老朽化したり荒れ果てたりしている空き家について、適正に管理し、特定空き家をなくしていく。	
重要業績評価指標（KPI）： ・特定空き家認定件数を 〇 件以下に減らす。	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等対策推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画課</li> </ul>

③総合的な治水対策の推進	
降雨時における水路内の体積土砂の浚渫・ゴミや雑草等の清掃を実施し浸水被害の軽減を図ると共に、湧水期における藻や雑排水からの悪臭を防ぎ、住みよい環境に整えることを目的としています。また、大雨時にはポンプを稼働し、住宅等への浸水被害を防ぎます。	
重要業績評価指標（KPI）： ・大雨時の床下・床上浸水件数…〇件 ・苦情・要望件数 15%減らす	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策事業</li> </ul>	都市整備部 道路水路整備課

④防災体制の強化	
土砂災害等災害発生時の被害を最小限に食い止めるため、災害を監視するシステムを構築し、また市民の自主防災組織の訓練実施により、地域防災力の向上を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会における自主防災組織結成率…100%</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災対策事業</li> <li>土砂災害情報相互通報システム管理業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理課</li> </ul>

### 3)犯罪のないまちづくり

①防犯対策の推進	
警察や防犯協会と連携して啓発活動を実施し、犯罪のない明るいまちづくりを推進することにより、市民が安全で安心して暮らせるようにします。また、防犯灯の維持管理や防犯カメラの設置を推進し、街頭犯罪を未然に防ぐ取組を進めていきます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯のLED化 70%</li> <li>防犯カメラ設置箇所 180箇所</li> <li>街頭犯罪件数 0件</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯対策事業</li> <li>LED防犯灯事業</li> <li>防犯カメラ設置費補助金事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携支援課</li> </ul>

②交通安全対策の推進	
交通安全施設の適切な管理を行い、車両や歩行者の安全を確保し、安心して通行できるようにするとともに、交通ルールの順守を呼びかけて、交通事故防止に努めます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内交通事故発生件数 0件</li> <li>放置自転車等移動保管台数 30%減少</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策事業</li> <li>自転車自動車駐車場施設管理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路水路管理課</li> </ul>

#### 4)コンパクトなまちづくり

<b>①医療・福祉・商業施設等を集約したまちづくり</b>	
持続可能な都市経営を確保するため、人口や土地利用形態等の基礎的な調査・分析を実施し、コンパクト化に向けた取組を支援します。また、子ども・孫の世代が駅周辺を中心として親世代と交流ができる市内での3世帯の分散を促します。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> 「計画的な土地利用」に関する市民満足度 2.79（H26）→3.25（H31）	
内容	担当
・立地適正化計画の推進	・都市計画課

#### 5)整備の行き届いたまちづくり

<b>①生活排水の適正処理</b>	
柏原市域において、生活環境の改善を進め、公共用水域（河川、水路等）の水質改善に努めます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・浄化槽の設置個所数 30基 ・河川の水質改善（大和川のBOD75%値 3mg/ℓ未満）	
内容	担当
・浄化槽設置整備事業	・下水工務課

<b>②市道の整備</b>	
危険箇所の改善や安全性の向上などの道路環境の向上を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）</b> ・用地買収、補償補填 3か所 ・踏切改良 1か所 ・LED化 20灯	
内容	担当
・道路新設改良事業 ・市内街路灯LED化事業	・道路水路整備課

<b>③公共交通網の整備</b>	
慢性的な交通渋滞が発生している地区の渋滞発生メカニズムを解明し、交通渋滞の緩和による交通の円滑化を図ります。また、歩行者空間のバリアフリー化を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・渋滞発生回数の減少	
内容	担当
・田辺旭ヶ丘線整備事業	・道路水路整備課

## ■基本目標3 『子育て環境ナンバーワンのまち かしわら』

(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちへ)

次世代を担う子どもたちが心豊かに健やかに成長できるよう、また、子育てする家庭が仕事との両立を図ることができるよう、若い世代が出産や子育てに希望を持てる地域をつくり、安心して結婚・出産・子育てのできる環境を整えます。

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.28 (H25)	1.64 (H31)
保育サービスや子育て相談など子育て支援の満足度	3.24 (H26)	3.84 (H31)
子育てが楽しいと感じる親の割合	62.9% (H25)	77.6% (H31)

## ■講ずべき施策に関する基本的方向

魅力あるまちづくり、にぎわいあるまちづくりを推進し、若者が住みたくくなるような若者目線の仕組みを取り入れます。

## ■施策

### 1) 結婚支援の充実

①「出会いと結婚」の機会づくり	
ぶどう農園を活かした婚活イベントを行うほか、家賃補助、リノベーション費用の補助を行い、出会いと結婚を支援します。	
重要業績評価指標 (KPI):	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ぶどう農園婚活イベントによる出会いの提供 回/年</li> <li>年間家賃補助件数：60 世帯 (H26 年度:一世帯)</li> </ul>	
具体的な事業	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称) ぶどう農園婚活イベント</li> <li>(仮称) 新婚世帯家賃助成の支給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興課</li> </ul>



## 2) 妊娠・出産支援の充実

①妊娠・出産支援体制整備	
<p>妊産婦及び乳幼児とその保護者に対し、保健指導、健康診査、訪問指導を実施することで、安全・安心な出産や乳幼児の健全な成長発達といった、母子保健の向上を行います。また、不妊専門相談センターの運営や、男性不妊治療も含めた不妊治療に対して助成を行うことにより支援します。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診受診率 100%【H31】</li> <li>・不妊専門相談センターの相談件数〇〇件【H27】→増加【H32】</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業</li> <li>・（仮称）不妊治療総合支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉課</li> </ul>

## 2) 幼児教育・保育施設等の充実

①認定こども園の推進	
<p>幼稚園・保育所それぞれの良さを活かした一元化施設を整備し、保護者の就労に関わらず、一体的な環境の中で教育と保育の両方を受けることができるようにします。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園入所者数</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼、保による一元化施設への移行</li> <li>・民間幼、保に対する移行支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課</li> </ul>

②低年齢児保育推進事業	
<p>公立保育所の民営化と乳幼児保育用品費の補助によって0歳児の入所数を確保することで、待機児童の解消が進み、安心して子育てのできるまちづくりを実現し、さらに若者移住や出生数の増加につなげていきます。</p>	
<p><b>重要業績評価指標（KPI）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育所の民営化…2園</li> <li>・低年齢児保育枠…20名分拡大</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所民営化事業</li> <li>・小規模保育事業所助成事業 （低年齢児保育所入所枠の拡充）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課</li> <li>・こども育成課</li> </ul>

③教育・保育施設の環境整備、運営支援	
環境整備と運営支援を行うことにより、保育内容の充実を図り、需要が拡大している低年齢児童の保育が円滑に実施できる。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・子育て支援の満足度 3.24⇒3.55（H31）※市民意識調査	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の環境整備</li> <li>・民間認可保育所に対する補助制度の充実</li> <li>・小規模保育事業者に対する補助制度の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課</li> </ul>

④放課後児童会施設の環境整備	
放課後児童会の場として使用する市内 10 小学校の児童会施設について、安全面や衛生面について良好な状態に保つことで、小学生の放課後の安全で安心な活動場所を確保します。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> 施設に起因する児童の事故件数 0 件	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童会施設の環境整備 （放課後児童会保護者緊急連絡用メール配信システム運用事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども育成課</li> </ul>

⑤保育サービスの事業	
保護者の就労等により保育を必要とする就学前児童を保育所に入所させることにより、当該児童の健全な育成を図ります。また、障害の有無に関わらず、児童それぞれの可能性を最大限にのばすとともに、共に保育することで相互の発達を促進することを目的とします。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこととして、「子どもを預かってくれる施設が見つからない」と答える親の割合 全体の5%以下（H31） ・子育て支援の満足度 3.24⇒3.55（H31）※市民意識調査	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所事業</li> <li>・障害児保育事業</li> <li>・時間外保育事業</li> <li>・民間保育園事業</li> <li>・施設型及び地域型保育給付事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課</li> <li>・こども育成課</li> </ul>

### 3) 子育て支援の充実

①相談支援体制の強化	
核家族化に伴い、子育ての悩み等を相談できる家族や友人が近くにいない子育て世帯が増えて いるため、市内3か所に地域子育て支援拠点を置き、相談指導や情報提供を行います。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・ 育児相談件数…1,000件	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子育て支援センター事業 (子育てに関する相談支援体制の充実)</li> <li>養育訪問支援事業における全戸訪問の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども政策課</li> </ul>

②経済的支援の充実	
子育て世帯の経済的に安定した生活を構築するため、保育料や医療費の一部助成を行い、健全な 児童育成の環境を作ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・ 実際の子どもの人数が理想どおりと答える親の割合 43.4%(H27)→60.0%(H31)	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所、幼稚園等の保育料の3割軽減の維持</li> <li>こども医療費助成事業 (対象年齢の拡充(小6→中3))</li> <li>ひとり親家庭等医療費助成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども育成課</li> </ul>

③子育て支援サービスの充実	
子育て家庭等に対する様々なイベントを開催したり、子育て家庭同士の交流できる場を設けたりすることにより、同じ境遇の方や地域とのつながりを育んでいきます。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設開放・交流広場利用数 7,000人（延べ）</li> <li>子育て応援イベント参加者数 3,000人（延べ）</li> <li>かしわら女子応援カード登録者数</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子育て支援センター事業</li> <li>子育て世帯プレゼント贈呈事業</li> <li>つどいの広場事業</li> <li>父親子育て講習会実施事業</li> <li>要支援児童対策事業</li> <li>ひとり親家庭等福祉対策事業</li> <li>一時預かり等保育事業</li> <li>子育て応援イベント事業</li> <li>幼稚園預かり保育事業</li> <li>かしわら女子応援カード推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども政策課</li> <li>こども育成課</li> <li>まちの魅力づくり課</li> <li>産業振興課</li> </ul>

#### 4) 教育指導の推進

①学力・体力の向上と支援の充実	
園児（幼児）、教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見、早期治療に役立っています。また、本市の児童生徒の生きる力につながる学力・体力を向上させるための指導法の改善・充実および具体的実践に役立てることを目的とします。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> <p>全国学力・学習調査結果 全国の平均正答率を5ポイント上回る</p> <p>全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果 全国平均を上回る</p> <p>学校教育に対する満足度 「満足」、「やや満足」という回答が80%以上</p>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・小学校・中学校保健対策事業</li> <li>小学校・中学校教育振興事業</li> <li>学力向上対策事業</li> <li>小学校・中学校英語指導事業</li> <li>小学校スクールカウンセラー配置事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども政策課</li> <li>教育総務課</li> <li>学務課</li> <li>指導課</li> </ul>

②経済的支援の充実	
経済的理由で就学が困難にならないよう、教育の機会均等を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> 就学援助認定率 20% 奨学金貸付応募者 7人 奨学金貸付者数 20人	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園補助事業</li> <li>・小学校・中学校就学援助費</li> <li>・奨学金貸付事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課</li> <li>・学務課</li> </ul>

### 5) 小中一貫教育の推進

①小中学校教育・学校施設等の充実、環境整備	
校舎や屋内運動場などの施設を改修、補強して、児童の安全性の向上や学習環境の向上を図るとともに、設備等の利便性向上にも配慮した充実を図ります。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・教育環境の満足度 3.25（H26）→3.75（H31）	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼・小・中一貫教育推進事業</li> <li>・小学校・中学校校舎耐震化事業</li> <li>・幼稚園施設整備事業</li> <li>・小中一体型施設の設定</li> <li>・一体型施設環境整備</li> <li>・既存施設の環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育総務課</li> </ul>

### 6) 地域連携・私学・高校・大学連携

①大学との連携	
大学と連携することで、それぞれの資源を活用して柏原市の保健・医療・福祉・教育の発展と雇用の創出を促進します。	
<b>重要業績評価指標（KPI）：</b> ・市内大学新卒者の市内での雇用 10%増	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地（知）の拠点大学による地方創生推進事業</li> <li>・小中一体型施設において、知の拠点としてサテライト施設の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整課</li> <li>・指導課</li> </ul>

## ■基本目標4 『にぎわいのあるまち かしわら』

(時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する)

多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。そして、多世代交流の場を設け、地域コミュニティの活性化を図ります。

数値目標	基準値	目標値
路線バスや市内循環バスなどの公共交通の整備の満足度	2.7 (H21)	3.7 (H31)

## ■講ずべき施策に関する基本的方向

地域が主体となるまちづくりを推進し、高齢過疎化対策や地域活動支援を行い、自治活動の活性化を支援していきます。

## ■施策

### 1) 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

①高齢者生きがい推進事業	
高齢者が楽しく集い、健康と体力の持続増進を図ることを目的とします。また、コミュニティの醸成をめざします。	
<b>重要業績評価指標 (KPI) :</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会参加者数 50人 (H27)</li> <li>自然体験学習施設の地元地区雇用 3人 (H27)</li> </ul>	
内容	担当
・高齢者生きがい推進事業	・社会教育課

②地域を支える公共交通網の形成事業	
交通利便性のさらなる向上に向け、コミュニティバスとスクールバスの整備を行います。	
<b>重要業績評価指標 (KPI) :</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>堅上地区を新しいふるさととする特認児童がスクールバス運行により最大 39人増 (H31)</li> <li>交通網の満足度 2.81 (H26) ⇒3.50 (H31) ※市民意識調査</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス運行委託事業</li> <li>スクールバス運行委託事業</li> <li>地域公共交通網形成計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務課</li> <li>学務課</li> <li>都市計画課</li> </ul>

③買い物弱者への事業	
自力での買い物が困難な高齢者や障害者に代わり、買いたい物を自宅に届けることで、安心して生活できる体制を整えます。	
重要業績評価指標（KPI）： ・スマートフォンによる買い物支援利用者数 50人	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）スマートフォンによる買い物支援事業</li> <li>・（仮称）宅配事業用車両購入費補助事業</li> </ul>	

④コミュニティ形成事業	
自治会（町会）や区長会及び市民団体が安心して住民活動を行えるようにするとともに、地域の諸活動が活発かつ円滑に行われるよう取り組みます。	
重要業績評価指標（KPI）： 市内コミュニティセンターの利用件数 H26実績（1,377件）の15%増 地域担当職員制度利用（相談）件数 H26実績（274件）の25%増	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所修繕等補助事業</li> <li>・自治振興事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携支援課</li> </ul>

## 2) 健康づくりの推進

①健康増進サービスの充実	
市民の疾病の早期発見と予防、健康意識の向上、健康の保持・増進を目的として、様々な事業を実施します。	
重要業績評価指標（KPI）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率の向上 （胃がん10%、子宮がん30%、乳がん30%、肺がん10%、大腸がん15%）（H28）</li> <li>・特定健診受診率 60%</li> <li>・健康ウォーキング参加者数 500人</li> <li>・人間ドック受診者数（国保加入者） 1,300人</li> </ul>	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進事業</li> <li>・スマートウェルネスシティかしわら事業</li> <li>・健康ウォーク事業</li> <li>・予防接種事業</li> <li>・高齢者の生活・安全支援事業</li> <li>・国民健康保険事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉課</li> <li>・高齢介護課</li> <li>・保険年金課</li> </ul>

## 第4章 計画の推進

---

### 4-1 PDCAサイクル

総合戦略においては、4つの基本目標ごとに成果指標を掲げるとともに、具体的な施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定し、これらにより政策の効果を検証し、改善を行う仕組み(PDCAサイクル)を構築します。

### 4-2 推進体制

まち・ひと・しごと創生法の制定に対応し、全庁的推進を図るため、庁内検討会議を設置しています。この全庁的な本部体制のもと、既存の行政分野にとらわれることなく、民間活力の導入も検討し、実効性の観点から総合的・横断的な施策の推進を図ってまいります。

### 4-3 進行管理スケジュール

毎年度 KPI に基づく進捗状況を把握し、計画の進行管理を図ります。